

**総合相談委員会からの提案**

①虐待対応専門職チームについて

現在ばあとなあ、地域包括支援センター一部会員が参加し、弁護士会と虐待対応専門職チームに関する話し合いを行っている。高齢者の虐待において、介護者に障害がある、高齢者の配偶者による DV 等、複合的な問題が存在している。

そのため専門職チームには様々な視点を持った人たちに参加して欲しい。専門職チームはワーキンググループの形をとり、会員の中からメンバーを募り、委員会横断的に様々な虐待関連問題に取り組めるチーム作りを目指したい。

②地域における虐待対応研修実施体制構築モデル事業への取り組みについて

上述の通り、現在弁護士会との虐待対応に関する話し合いを進めている段階であり、まだ専門職チームも立ち上がっていない。今年度は虐待対応専門職チームの立ち上げを目指す準備期間としたいため、モデル事業には参加しないこととしたい。

**地域包括支援センター支援部会 報告事項**

①8/27(水)28(木) 地域包括支援センター社会福祉士実務研修について

- ・ 林副会長より、県へ後援・行政説明をいただけることを相談していただき内諾済み(7/18現在)。  
近日中に正式な依頼文書を発送予定。
- ・ 研修案内は7/25発送の「点と線」に同封する予定。

②千葉県地域包括支援センター職員研修業務委託について

- ・ 7/16に選考委員会にてプレゼンテーションを実施(説明者：地域包括部会・須田さん、山崎会長、岡本事務局長)
- ・ 7/18追加ヒヤリング(説明者：地域包括部会・須田さん、岡本事務局長)
- ・ 選考結果は7月下旬に通知される予定。
- ・ 申し込みは千葉県社会福祉士会のほかに千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会。
- ・ 研修予定  
初任者研修 第1回目 H20/10/20(月)、21(火) 第2回目 H20/11/22(土)、23(日)  
現任者研修 第1回目 H21/ 2/17(火)、18(水) 第2回目 H21/ 3/18(水)、19(木)
- ・ 会場は海外職業訓練協会(OVTA)で仮予約済。

③弁護士会との虐待対応専門職チームの話し合いについて

- ・ 7/11、7/18と弁護士会との虐待対応専門職チームについて話し合いの機会を持った。  
(各回ともばあとなあ2名、地域包括支援センター一部会2名の参加)
- ・ 県内の市町村にアンケートを実施。56市町村中現在48市町村からの回答あり。
- ・ 弁護士1名と社会福祉士1名が市町村の要望に応じ、出張や電話相談に応じる専門職チームについて「非常に必要性がある」・「ある程度の必要性がある」で89.6%。
- ・ 専門職チームについて「ぜひ利用したい」「おそらく利用する」で93.8%。
- ・ 今後とも定期的に話し合いの機会を持ち、県に対して予算化に向けた働きかけをしていく予定。
- ・ 参加者はばあとなあ、地域包括支援センター一部会から出席。

**地域包括支援センター支援部会 検討希望事項**

①虐待対応専門研修にかかる支部推薦について

- ・ 日本社会福祉士会ニュースNo. 129に同封されている虐待対応専門研修(地域包括支援センター現任研修・アドバイザーコース)は支部推薦が必要となっている(申し込み受付期間7/14~8/15)。
- ・ 支部推薦については地域包括支援センター一部会が申込者の優先順位順のリストを作成し、3役に提出し、決定する形としたい。

②本部の虐待対応専門職チームへのアンケートについて

- ・ 添付の通り作成済み。  
内容を確認いただき、送信したい。

③1月に実施した虐待対応専門職チームのアンケート結果を弁護士会、社会福祉士会の連名で県に提出してよいか。

【調査 1】 「在宅高齢者虐待対応専門職チーム」  
の活動状況

単位会・支部	回答者名
千葉県支部	

1. 虐待対応チームの設置について、下記からお選び下さい。

①設置した (設置した時期 年 月)

質問 2 以下にお答え下さい。

②設置予定 (予定している時期 年 月)

③検討中

検討状況をお書き下さい

1. 虐待対応チーム設置の方向で検討中。
2. 委託契約の相手方は県とする。
3. 他県の状況を参考に委託契約案を検討する。
4. 検討にあたり、市町村の意向を確認するためにアンケートを実施した。(平成 20 年 1 月)

質問は以上です。  
ありがとうございました。

④設置は困難である

困難な理由をお書き下さい

以下の項目は専門職チーム設置済みの支部への質問のため、回答していないため記載は省略します。

**相談事業部会 報告事項**

①6/29「福祉のしごと就職フェア in ちば」

- ・ 相談者 11 名（うち資格取得者 2 名、受験資格取得者 1 名、取得予定者 8 名）
- ・ 資格取得者については社会福祉士の資格を生かした就職に関する相談、取得予定者については勉強方法等資格取得の技術的な質問が多かった。

研修啓発部会

【報告事項】

- 1、会議開催 6月22日 別紙議事録
- 2、統一模試 (10/19)
  - ・会場が青少年会館
  - ・問題のみ販売の場合は4, 200円の販売 (送料別)
- 3、社会福祉士受験対策講座 講師説明会 7月20日 開催
  - ・講師に履歴書を記載いただき、経歴等を明らかにする
  - ・来年度より新たに講師を依頼する際は、履歴書の記載とともに部会長と面談を行う
- 4、基礎研修
  - ・当理事会終了後 開催 定員80名

以上

## 平成 20 年度 第 3 回啓発養成部会議事録

1. 日 時:平成 20 年 6 月 22 日(日) 10:00~12:00
2. 会 場:千葉県社会福祉センター 4F
3. 出席者:浅見・岡本・神田・小樽・染野・富岡・大澤(議事録)7 名
4. 審議・報告事項

① 基礎研修について

当初の企画書(浅見部会長作成)の流れにて 7/27 に実施予定。旧年度と異なる点は、部会毎にプレゼンテーションの時間を設け、新規会員に対して部会の具体的な活動内容や方向性を明確化し、積極的なアプローチを心がけて行く指針を掲げた。

なお、受付及び会場設定などの協力予定者は、浅見・神田・小樽・宮本の 4 名が、現段階では了承を得られている。

また、研修終了後の懇親会に関しては、昨年度当日のキャンセルが多く、赤字となってしまったことを考慮し、当日の受付段階にて確認をとり、会場を予約することとした。

② 受験対策について(社会福祉士受験対策講座・東京成徳大学受験対策講座)

今年度は、時間尺を延長し 1 コマ 100 分にて、講義を行うこととなった。当初、検討されたゼミ方式の講義に関しては、次年以降に再度協議(社会福祉士の受験科目の変更等を踏まえて)することとした。また、現行では講師を担当する者の、履歴などの提出及び会における厳密な資格要件などが成されずに、依頼を行ってきたが、今後は履歴書の提出及び適正等に関しても厳選して行うこととなった。履歴書の様式に関しては、現在作成中。

東京成徳受験対策講座に関しては、前年度同様に 65 万円にて、契約が締結される見込み。受講者の過半数が合格したといった実績は評価されたものの、次年度の契約に関しては大学サイドの予算の流れから、現状では不透明である。

平日の講義となるため、当初、予定された講師が担当できなくなった場合のサポート体制としては、君和田・相沢両講師が請け負うことになっている。

使用テキストに関しては、社会福祉士会の受験対策講座で使用する中央法規出版の「受験ワークブック」を前回同様購入せずに、各担当講師のオリジナルのシラバスにて実施。シラバスについては、8 月下旬までに、事務局に提出(詳細は 7/20 に再検討)

③ 統一模試について

当初予定した会場が変更となる可能性が生じた。この件に関しては、7 月以降にメーリングリストにて連絡調整を行う予定。一方、聖徳大学の須田先生から、各大

学に営業する必要性を示唆されており、具体的な方法は今回の会議においては答えを出すまでには至らなかった。同時に、受験料等の金額についても協議されたが、こちらに関しても統一模試といった形態を踏まえて、他の団体と比較し大幅な料金改定が可能かどうか、不明瞭であったため、明確な結論をだすことができなかった。

※次回部会開催日:平成 20 年 7 月 20 日 15 時～17 時(千葉県社会福祉センター4F)

ばあとなあ千葉第 3 回運営委員会報告

実施日時 20 年 7 月 3 日 (木) 18 時 30 分～21 : 00

実施場所 社会福祉センター 4 階会議室

出席者 石山・井上・市川・小川・岸・朽名・篠田・鈴木・土井・鳥羽田・矢島・吉田 (12 名)

議題 ① 研修 支部委託養成研修 最終確認

第 11 期 成年後見人養成研修 (通信) 支部推薦 応募者 6 名→推薦 4 名枠  
活用講座 (10 月 8～9 日) 講師割振り (家裁と後見支援センターに講師依頼する)

② 広報 ばあとなあ千葉ニュース第 15 号発行について

③ 虐待対応 虐待対応専門職チームの窓口について。弁護士と共に行なったアンケートの集計が出ており、11 日前に総合相談委員会へ引継ぎを行ないたい。  
弁護士との権利擁護に関わる勉強会は今後も継続していく。

④ コーディ ネット 家裁への推薦状況 (4 月～6 月まで) 計 18 件

ネット コーディネットは多くの人が関わり 6 名体制で行なっていく。

新しい登録員から依頼していく。登録員数は多いがいざ依頼すると断られることが多い。地域にばらつきがある。

⑤ 法人後見 現在の取り組み状況

法人後見に関する要綱 (案) 確認→目を通して次回

\* 以下登録員研修で出た意見

⑥ ばあとなあ千葉の運営マニュアル作成について→行なう。

⑦ ホームページでばあとなあ千葉についての情報が欲しい→すでに作成してある資料に手を加える。運営委員会の簡単な報告を載せる。頻繁に更新が必要のない内容にする。

⑧ 地区ごとの研修会・集まりについて→ 弁護士も含めた専門職の集まりを企画していく。それぞれの地区で勉強会を呼びかける (日程がきまればニュースに載せる)

⑨ 新人を応援する体制→ ⑧のような集まりの中で可能にする。

⑩ 次回からの登録員研修のあり方→ 準登録員と登録員研修を午前・午後に分けて行なう。

⑪ 実務の手引きの在庫が少なくなったため増刷をしたい。

次回の運営委員会は 9 月 6 日 (土) 成年後見人養成研修最終日に反省会を兼ねて行なう。

※その他の活動報告

\* 登録員・準登録員等研修会実施の報告

実施日 6 月 22 日 (日)

開催場所 社会福祉センター 3 階会議室

参加者 登録員 39 名参加 準登録員 20 名参加

\* 成年後見人養成支部委託研修実施の報告

実施日 7 月 12 日 (土)・13 日 (日)

開催場所 労働者福祉センターに於いて実施

受講者 30 名

ばあとなあ千葉運営委員の出席～12 日 (5 名)・13 日 (5 名)